

# 石狩市市有林間伐促進プロジェクト

## ～ ニシンが群来<sup>くき</sup>る豊かな海を未来に繋ぐ森づくり～

※群来(くき)…ニシンが産卵のため大群で押し寄せ、海岸が乳白色に染まる様子

豊かな森林が海岸付近まで続く石狩湾北部の沿岸は、かつてニシンにより大いに繁栄しましたが、昭和30年ごろを境にニシンは姿を消し、後にはニシン御殿が昔の栄華を伝えるだけになりました。

しかし近年、ニシンが浜に戻りつつあります。

一部では、「群来」により海岸がエメラルドグリーンに染まる光景が、再び見られるようになりました。

群来が起きるためには、海岸部にニシンが卵を産みつける海藻の群落「藻場」が欠かせません。

豊かな藻場が育つためには、間伐などにより森林を健やかに育て、落ち葉などからの有機物が海に流れ込む環境が必要です。

「森が海を育てる」という認識は地域で共有され、間伐などの森林整備や市民による植林活動など、

多くの取り組みが行われています。本プロジェクトは、豊かな森林を造成し、地球温暖化防止に貢献することはもちろん、

「群来」に代表される、石狩の海の環境を回復し、未来へと引き継いでいこうとする取り組みです。

## 「いしかりJ-VER」とは

厚田区・浜益区の市有林を適正に管理することにより、増加したCO<sub>2</sub>吸収量でJ-VERを発行。

販売収入を「環境まちづくり基金」に積立て、環境保全、間伐・植林活動や環境教育など広く活用しています。



「いしかりJ-VER」シンボルマーク

※J-VERとは…省エネルギー機器の導入や森林整備などの取組によるCO<sub>2</sub>の削減量又は吸収量を「J-VER」として国が認証する制度であり、市場流通ができ金銭的な価値を持つもの。事業者等が削減困難なCO<sub>2</sub>排出量について、J-VERを購入しその埋め合わせに活用。

### いしかりJ-VERの取組み

森林を適正管理し成長した木々によるCO<sub>2</sub>吸収量の増加

いしかりJ-VERを発行

J-VERを売却

削減できない分のJ-VERを購入しオフセット(埋め合わせ)

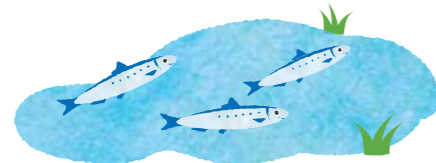
### 事業者等の使い方

削減努力

企業から排出されるCO<sub>2</sub>

削減できない排出量

販売収入を森づくり等の環境施策に活用。成長した木の落ち葉などが海へ流れ、鯉の産卵場所となる藻場が形成される。



ニシンが群来する豊かな海へ

相互のメリット

コスト削減

CSR向上

環境貢献

企業活動と環境貢献の両立へ



# 森と海、そして鯨。

海と森に囲まれた素晴らしい環境にある道の駅石狩「あいろーど厚田」で石狩市の森林資源を活かしたカーボン・オフセット「いしかりJ-VER」の普及や森づくり、人と自然との共生、地球温暖化対策などについて考えるフォーラムを行いました。

(平成30年度環境まちづくり基金事業)



(左)ダムダム正一、(右)ヤマザキモーターズ



## 第1部 13:10-14:10

### 環境エンターテイメント おもしろ環境ゼミナール

〈講演者〉カンキョーズ(漫才師)

環境をテーマにした講演を全国で行っている漫才ユニット「カンキョーズ」をお招きし、エネルギー問題、環境問題、地球温暖化、石狩市の環境への取り組みについて、コントスタイルでお話いただきました。

わかりやすい自作のスライドを使いながら、参加者を惹き込む面白いお話で、最後まで笑いのたえない時間になりました。特に子どもたちには大人気で、各テーマにちなんだクイズに積極的に手を挙げて参加していただきました。

環境という難しいテーマを子どもから大人まで楽しみながら学ぶ機会となり、環境への意識を高めたり、いしかりJ-VERをはじめとした石狩市の取り組みを知るきっかけになったと思います。



## 第2部 14:20-15:50

### パネルディスカッション 森と海をつなぐ 人づくり・地域づくり

〈モデレーター〉

FM北海道パーソナリティ 元STVアナウンサー  
農都共生研究会 会長 林 美香子

〈パネリスト〉

株式会社あい風 社長 吉田 和彦  
NPO法人ezorock 代表 草野 竹史  
徳光 珈琲 代表 徳光 康宏

林美香子さんをモデレーターに、石狩市で活動をしている3名をパネリストにお招きして、森が海を育てるという認識がより多くの皆さんに共有され、豊かな森と海を未来へつなぐために、人づくり・地域づくりの観点から、今何ができるのかを話し合っていました。

林: 吉田さんへの質問ですが、あいろーど厚田では環境に関してどのような活動を行っているのでしょうか。

吉田: 厚田の歴史を紐解いていくと、鯨は商品としての価値だけでなく、北前船とあわせて文化的にも非常に大きな資源であり、あいろーど厚田のテーマにもなっています。鯨が獲れる豊かな海に戻すためには、森もまた同様に豊かにならないといけません。そこであいろーど厚田でも何か森づくりに貢献できるよう、お客様に購入いただいた売り上げの中から、「いしかりJ-VER」を昨年から購入し始めました。これは企業の地域貢献としても、非常に意味のあることです。今後も引き続き「いしかりJ-VER」を購入し、大きく太った鯨がまた戻ってくる栄養豊富な海をつくっていきたくと思っています。

林: 草野さんには、ezorockでの活動の一部をご紹介します。

草野: 私たちの森に関わる活動として、本日のフォーラムで出展している「薪割り体験」は当団体の取り組みの1つです。石狩市の森には間伐した時に余った規格外の木材がたくさん捨てられているのですが、それを使って都市部に住む若者と森林を繋げるプロジェクトを行っています。その他にも浜益区に樹齢1500年のイチイの巨木があり、子どもや若者を連れて行き、自然に触れてもらう事で、環境について考えてもらったり、また石狩市の関係人口を増やす取り組みをしています。

林: 徳光さんからは、珈琲と環境についてお聞きしたいと思います。

徳光: 豆を焙煎したあとに、ハンドピックという選別作業を行います。そこで扱った豆は捨てるので産業廃棄物になり、相当な

量が出てしまうため、札幌新陽高校のアグリクラブと一緒に肥料化する活動を始めました。また抽出した珈琲がらを市内農家のはるさちオーガニックファームで堆肥と一緒に混ぜて肥料化しています。その他、ゴミの問題も深刻だと思っており、当店ではマイマグ(容器)を持ってきていただければ、一杯50円引きでご提供していますので、ぜひご協力をいただければと思います。

林: 3名の方のお話を伺って、それぞれの方で、人づくり・地域づくりができるんだと思いました。そして、その取り組みが石狩市の森づくり、海づくりに繋がっていくことになるんですね。また、石狩市環境政策課の佐々木課長より鳥取県日南町の道の駅「にちなん日野川の郷」で取り組まれている内容をお話してもらった中でもカーボンオフセットのお話がありましたが、石狩市にも「いしかりJ-VER」というカーボン・オフセットの取り組みもありますので、多くの方が「いしかりJ-VER」を活用して「森と海、そして鯨。」を合言葉に今後も素晴らしい人づくり・地域づくりが進んでいくことを願っています。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。



(左)草野 竹史さん、(右)吉田 和彦さん



林 美香子さん

徳光 康宏さん

## 木育コーナー

### 薪割り体験

子どもたちが楽しみながら木と触れ合う木育コーナー

### 森のピタゴラスで学ぼう!

## にしんの三平汁

300杯限定  
にしんの三平汁を販売

新型キーホルダー  
製作体験も実施!

